

市民活動との協働に関する基本指針（第三版）の活用

～具体的な取組案について～

富士市 市民部 市民活躍・男女共同参画課

1

「市民活動との協働に関する基本指針（第三版）」とは

（令和3年7月改訂）

市民活動との協働に関する基本指針（第二版）を踏まえ、
時代とともに変化する新たな社会的な課題を解決するため、
市民活動の活性化とともに、市民活動と行政がどのような関係性（協働）を
構築していったらいいかの道しるべ

2

市民活動の活性化や、さらなる協働推進のために
基本指針(第三版)で示す、今後強化して取り組んでいく項目

■協働に向けての環境整備

- 1 市民活動に関する情報の発信
- 2 センターを中心とした支援体制の強化

■行政側の協働推進

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 協働推進の必要性の認識 | 4 内部調整のルールづくり |
| 2 協働への理解の増進 | 5 積算基準の算定方法づくり |
| 3 知り合う機会づくり | 6 協働の担い手づくり |



複雑、多様化した社会的課題の解決へ

3

基本指針(第三版)の取組項目

3つのキーワード

■市民活動に対する認知に関すること

① 知る

■市民活動とのマッチングに関すること

② つながる

■市民活動の継続に関すること

③ 育む

■環境整備

- 1 市民活動に関する情報の発信
- 2 センターを中心とした支援体制の強化

■行政が進めていく取組

- 1 協働推進の必要性の認識
- 2 協働への理解の増進
- 3 知り合う機会づくり
- 4 内部調整のルールづくり
- 5 積算基準の算定方法づくり
- 6 協働の担い手づくり

4

基本指針（第三版）に基づく具体的な取組検討のキーワード

身近なところから 「知る」「つながる」「育む」

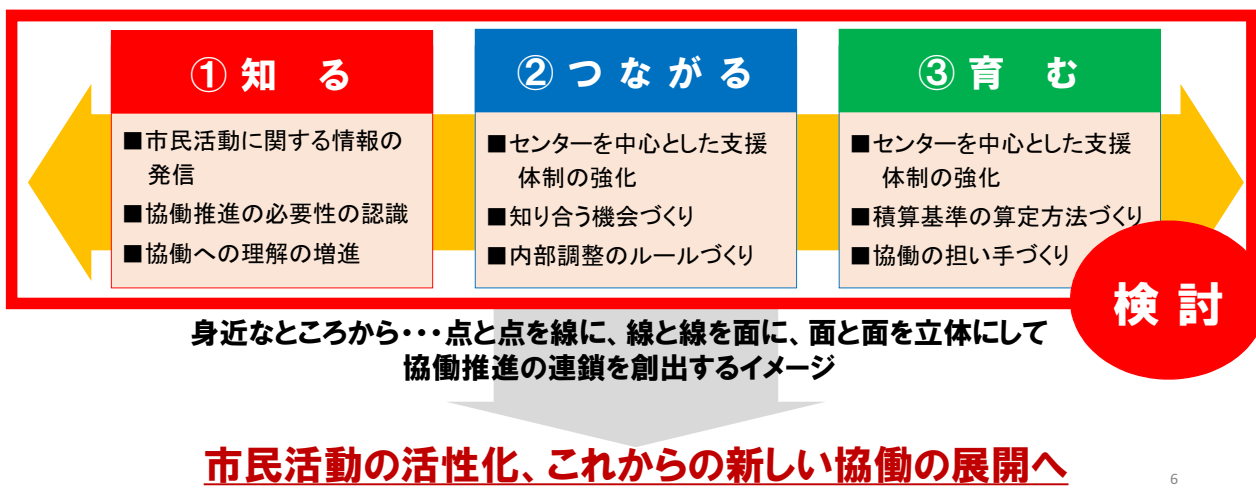
このキーワードを柱に、各取組項目をそれぞれの柱に集約しながら
横断的に連動した具体的な取組を検討

- ➡各取組同士の相乗効果を生み出す。
- ➡協働の推進には時間を要する。身近にできることから積み重ね。

5

基本指針（第三版）に基づく具体的な取組検討の考え方

基本指針（第三版）にある市民活動センターと行政の各取組について、**3つのキーワードを柱に連動した内容として検討し、相互の相乗効果を生み出す。**



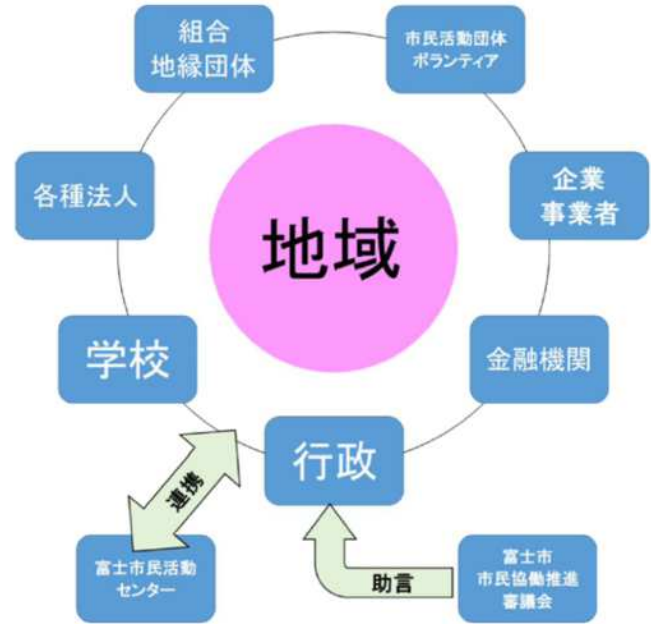
6

基本指針(第三版)

～キーワード～

「知る」「つながる」「育む」

より多様な主体が協働の担い手として活動することで、時代とともに変化する新たな社会的な課題の解決を目指す。

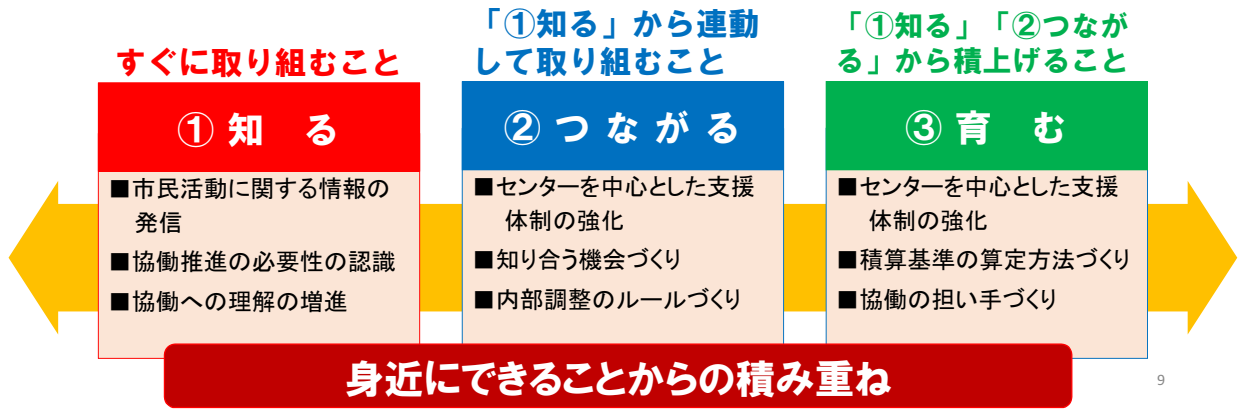


どのように取組を展開していくか

～具体的な取組のステップについて～

3つのキーワード

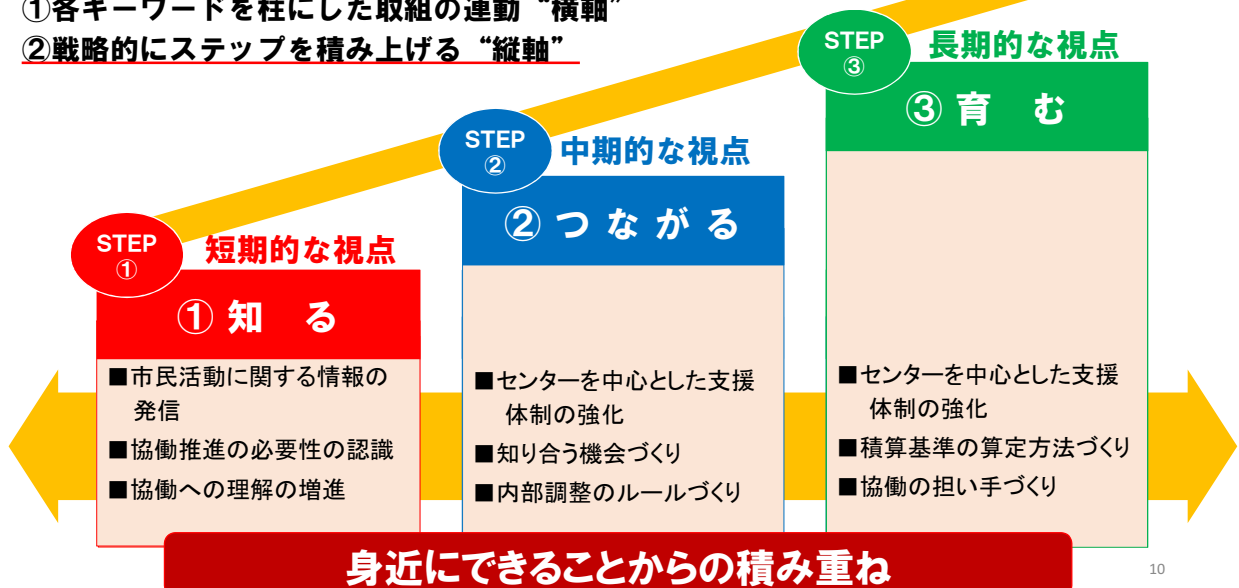
①各キーワードを柱にした取組の連動“横軸”



3つのキーワードと3つのステップ

①各キーワードを柱にした取組の連動“横軸”

②戦略的にステップを積み上げる“縦軸”



どのような取組を実施していくか

～これまでの取組の整理と新たな取組の検討～

11

どのような取組を実施していくか

取組の検討にあたり・・・

①これまでの取組を改めて整理

- ➔ これまでの取組を検証し体系づけることで効果的に機能させる
「点」と「点」を「線」につなげるイメージ

②これまでの取組の足りない要素を補うこと

- ➔ 新しい取組の実施
「点」と「点」、「線」と「線」が繋がりやすいように補足するイメージ

12

① これまでの取組を改めて整理

13

① これまでの取組を改めて整理

【これまでの主な取組】

- 市民活動センターコミュニティ f 開設（平成17年～）
 - ・ 市民活動団体の活動・交流の場／個別相談／団体の活動の情報や補助金等の活動支援につながる情報の収集・発信／団体のスキルアップ講座の開催／ソーシャルビジネスネットワーク 等
- 市民活動支援補助金（平成18年度～）
- ふじクリーンパートナー（平成18年度～） ※令和4年度から環境総務課所管
- 市民協働事業提案制度（平成26年度～）
- 人材育成事業 F U J I 未来塾（平成27年度～）
- スタートアップ補助金（平成29年度～）

14

①これまでの取組を改めて整理

STEP
①

知る（短期）

- 市民活動に関する情報の発信
- 協働推進の必要性の認識
- 協働への理解の増進

STEP
②

つながる（中期）

- センターを中心とした支援体制の強化
- 知り合う機会づくり
- 内部調整のルールづくり

STEP
③

育む（長期）

- センターを中心とした支援体制の強化
- 積算基準の算定方法づくり
- 協働の担い手づくり

①これまでの取組を改めて整理 → 3つのキーワードに整理

STEP
①

知る（短期）

- 市民活動に関する情報の発信
- 協働推進の必要性の認識
- 協働への理解の増進

STEP
②

つながる（中期）

- センターを中心とした支援体制の強化
- 知り合う機会づくり
- 内部調整のルールづくり

STEP
③

育む（長期）

- センターを中心とした支援体制の強化
- 積算基準の算定方法づくり
- 協働の担い手づくり

■ ■ ■ 市民活動センター（情報収集・発信、活動や交流の場、各種相談）

■ 情報収集・発信（ウェブ、掲示板、広報ふじ、報道提供等）

■ 補助金等制度説明会

■ ソーシャルビジネスネットワーク相談会

■ スタートアップ補助金

■ 市民活動支援補助金

■ 市民協働事業提案制度

■ 市民活動総合補償制度

■ 各種スキルアップ講座

■ FUJI未来塾

■ ふじクリーンパートナー ※R4～環境部所管

これまでの取組を3つのキーワードに整理・検証すると・・・

- 長期的な視点「(ステップ③) 育む」の要素となる制度的な取組はある。
- 「(ステップ③) 育む」に結び付けるまでの短期的な視点「(ステップ①) 知る」、中期的な視点「(ステップ②) つなげる」の要素となる取組が弱い。

- ➡ まず、最も基礎的な要素である短期的な視点(ステップ①)「知る」取組の重点的な強化が必要。
- ➡ ステップ①「知る」からステップ②「つなげる」に連動する取組の検討。
- ➡ 取組全体を補うため、短・中・長期を問わず全てのステップを網羅できる取組の検討。

17

②これまでの取組に足りない要素を補うには・・・

18

②これまでの取組

STEP ① 知る（短期）	STEP ② つながる（中期）	STEP ③ 育む（長期）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民活動に関する情報の発信 ■ 協働推進の必要性の認識 ■ 協働への理解の増進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ センターを中心とした支援体制の強化 ■ 知り合う機会づくり ■ 内部調整のルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ センターを中心とした支援体制の強化 ■ 積算基準の算定方法づくり ■ 協働の担い手づくり
<p>■ ■ ■ 市民活動センター（情報収集・発信、活動や交流の場、各種相談）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報収集・発信（ウェブ、掲示板、広報ふじ、報道提供等） ■ 補助金等制度説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソーシャルビジネスネットワーク相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタートアップ補助金 ■ 市民活動支援補助金 ■ 市民協働事業提案制度 ■ 市民活動総合補償制度 ■ 各種スキルアップ講座 ■ F U J I 未来塾 ■ ふじクリーンパートナー ※R4～環境部所管

②これまでの取組

→これまでの取組を補完する取組

STEP ① 知る（短期）	STEP ② つながる（中期）	STEP ③ 育む（長期）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民活動に関する情報の発信 ■ 協働推進の必要性の認識 ■ 協働への理解の増進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ センターを中心とした支援体制の強化 ■ 知り合う機会づくり ■ 内部調整のルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ センターを中心とした支援体制の強化 ■ 積算基準の算定方法づくり ■ 協働の担い手づくり
<p>■ ■ ■ 市民活動センター（情報収集・発信、活動や交流の場、各種相談）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報収集・発信（ウェブ、掲示板、広報ふじ、報道提供等） ■ 補助金等制度説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソーシャルビジネスネットワーク相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタートアップ補助金 ■ 市民活動支援補助金 ■ 市民協働事業提案制度 ■ 市民活動総合補償制度 ■ 各種スキルアップ講座 ■ F U J I 未来塾 ■ ふじクリーンパートナー ※R4～環境部所管
<ul style="list-style-type: none"> ① 情報発信の強化（広報ふじ新コーナー、LINE等のSNS、Radio-f等の活用） ② 各種団体への制度周知 ③ 先進事例の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 行政内の協働相談（コーディネート） ⑦ センターと行政を軸としたネットワークの強化（双方への橋渡し） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 制度の検証
<p>⑧（仮称）マッチング交流会の実施</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ④ 市民活動団体紹介冊子の活用 ⑤ 市職員向け研修の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 各種団体との連携拡大（NPO協議会、きらり交流会議、社会福祉協議会等） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ F U J I 未来塾修了生フォローアップ
<p>⑫（仮称）市民活動アワードの開催</p>		

②これまでの取組を補完する取組（案）

知る ① 情報発信の強化（広報ふじ新コーナー、LINE等のSNS、Radio-f等の活用）

STEP① ② 各種団体への制度周知

③ 先進事例の研究

④ 市民活動団体紹介冊子の活用

⑤ 市職員向け研修の開催

つながる ⑥ 行政内の協働相談（コーディネート）

STEP② ⑦ センターと行政を軸としたネットワークの強化（双方への橋渡し）

⑧（仮称）マッチング交流会の実施

⑨ 各種団体との連携拡大（NPO協議会、きらり交流会議、社会福祉協議会等）

育む ⑩ 制度の検証

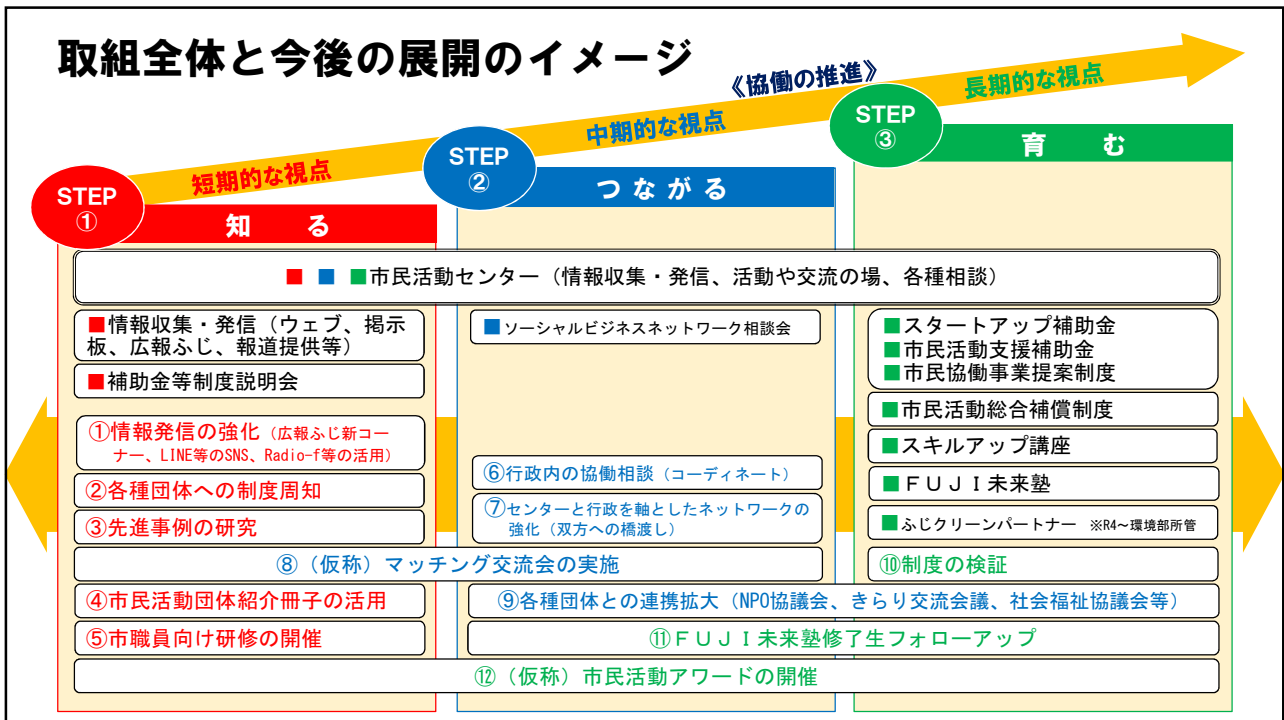
STEP③ ⑪ F U J I 未来塾修了生フォローアップ

⑫（仮称）市民活動アワードの開催

21

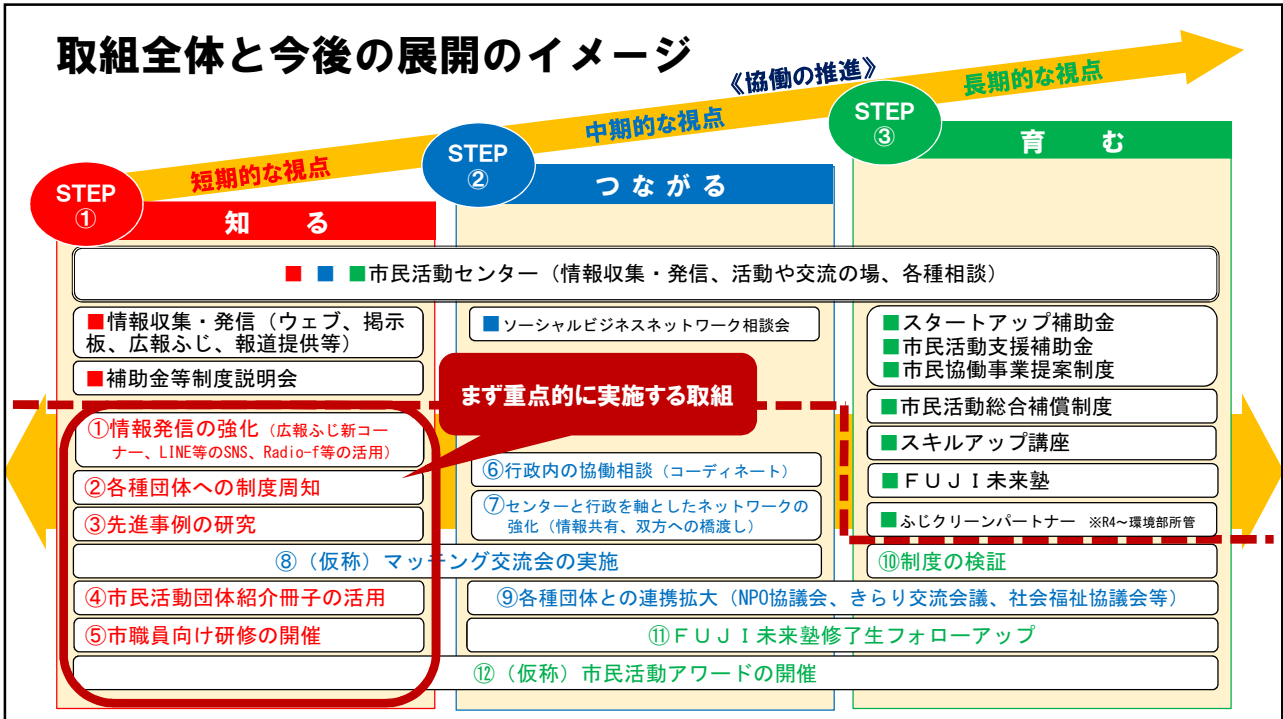
取組全体と今後の展開について

22



取組全体と今後の展開において まず重点的に取り組むべきことは・・・

24



成果指標について

26

成果指標の検討に当たって

- 協働の醸成には積み重ね（時間）が必要。求められる課題も変化する。
- 協働の推進は“意識の醸成”という要素が大きく、取組の実施によりすぐに効果が出るものばかりではない（数字として成果を表現しづらい）。
- この取組は、「知る（短期）・つながる（中期）・育む（長期）」をキーワードに、取組同士の連動・連鎖によって協働の推進を促すことがねらい。

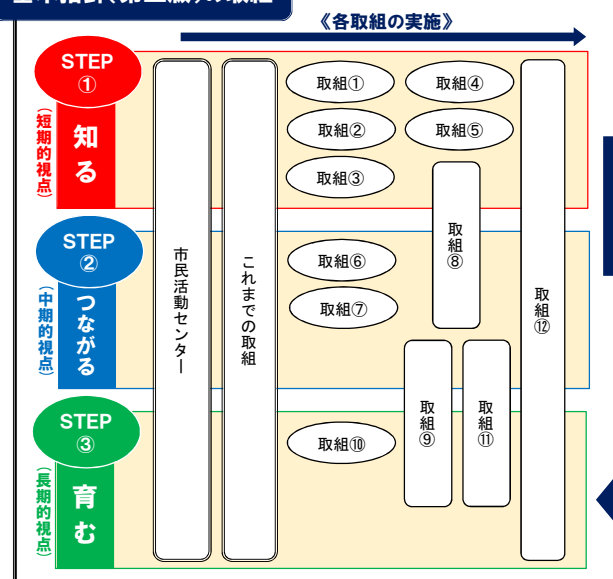
個々の取組ごとの成果を評価するのではなく、取組全体を実施することによって得られた実績（結果）を基に、適宜改めて取組内容を検証し、次の展開につなげていきたい。

→ 個別の成果指標自体の枠に囚われて取り組むよりも、柔軟な取組により、あらゆる展開が起こりうる限りない協働の可能性を引き出したい。

27

成果検証のイメージ

基本指針(第三版)の取組



協働の推進

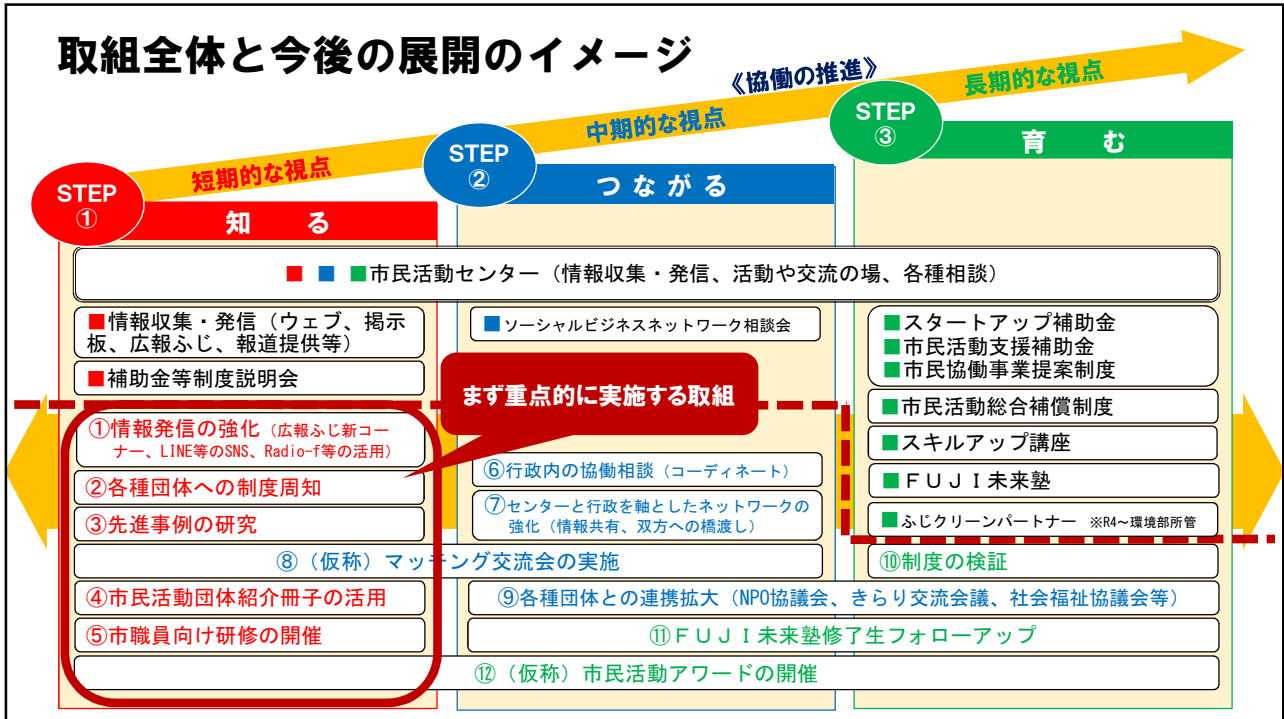
《協働の推進状況の確認》

【目安と考えられる実績(結果)】

- 市民活動センター利用実績
- 協働事業調査（後援、共催等）
- 各種補助金、提案事業の相談件数、申請数、採択数
- 協働に関する各種相談件数等々の向上

実績(結果)を踏まえ、強化すべき取組、修正すべき取組、追加すべき取組等を検証する

28



できることからコツコツと。
 お互い無理せず、日頃から顔の見える関係づくり。
 ゆるくて確かな信頼関係づくり。

30